

令和6年度 第7回崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和6年11月19日（火）午後6時30分～午後8時00分

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委 員> 板倉 しをり 伊藤 貴史 稲本 泰孝 井上 眞一
太田 眞由美 木村 友浩 柘植 伸夫 戸田 博基
永井 靖美 服部 啓二 林本 基 藤井 康博
藤村 匡泰 本多 鋭孝 松山 純成
<欠 席> 永山 慎二 山内 由美子
<事務局> 杉浦 智文（拳母事務所長）
田嶋 優俊（地域支援課担当長） 青木剛（地域支援課主任主査）

■次 第

- 1 開会 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 課題候補選定の論点整理Ⅱ
(1) 水害対策以外の課題の検討
(2) 水害対策と合わせて今後議論を行う課題の選定
- 4 連絡事項

■議 事（要約）

3 課題候補選定の論点整理Ⅱ

(1) 水害対策以外の課題の検討

前回までに出された水害対策以外の意見について、第2回地域会議時のグループに分かれ、各グループで議論したい課題をふたつ選び討議を行った。

討議は重要度や必要な対策に着目しブレインストーミング形式で実施した

(2) 水害対策と合わせて今後議論を行う課題の選定

各グループが選出したテーマについて、選出した理由や対策など議論の内容を発表した。

内容は別紙のとおり。

4 連絡事項

- ・令和7年度わくわく事業の募集について説明した。

《今後の予定》

●令和6年度 第8回崇化館地域会議

日 時：令和6年12月17日（火）午後6時30分～

場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室

【主な意見】（1：03：30）

＜グループワーク＞

《第1グループ発表》

- ・自治区レベルで見るとゴミのマナーが悪いのでゴミのマナーを解決していきたい。
- ・自分の地域のことを考えてやっていただく方が高齢化し次に続く人がいない。
- ・崇化館地域がもっとこうしていけばいいのにと考えて一歩でも前に出してくれる人が増えてこないことには地域会議だけでは数の力は足りない。
- ・ここのまちのまちづくりは、住民の意見があまり集約されていないまちづくりだ。地域会議の場が地域の意見の集約の場になっていない。
- ・中心市街地なのに、パツとしないという思いが愚痴でこぼれており、その声を出して集約できてという場ができてくると、思っていることの一つや二つやっていけると思うのでもうあと一個下に落としてもいいのではないのか。
- ・地域会議が主体となって崇化館エリアに住んでいる人の意見をもうちょっと聴いて集約できるような場をつくっていければ前向きになってくれる人が徐々に増えてくるのではないか、増えていかないことには中々良くなっていかない。
- ・テーマ1（まちづくり）の重要度で言えばここの地域の住民満足度自体は市の平均よりも高い反面、住民がまちづくりに参画していないという意見が出ているので、もっと住民の意見を集約できるような場があれば前に進んでいくことはあるかもしれない。ゴミ問題も重要度が高いが、長い目で見たときには、やはりここがしっかりしないことにはゴミ問題含め色々な問題は解決していかない、そういう意味で重要度は非常に高い。
- ・必要な対策としては、この地域会議で代表者だけが集まって議論するのではなく多様な手法あると思うが更に下に落とすというのはやったことないかもしれない。
- ・中長期で見たときもっと広く地域の意見を聴ける場だとか手法というのが色々あるとすれば、そこから一歩進んでくれる人が出てきたりグループができるかもしれない。
- ・マンションは住人の代表者が出てくるだけだが、中には色々言う場があれば意見を言いたいという人がいたら、それはもう自治区からしたら囲い込むチャンスだろうと思う。
- ・今ここでやっている形に近いことを更に広く地域の人から聞いて、やれることがあるのだったら地域会議に挙げて地域会議として実践してはどうか。

《第2グループ発表》

- ・共働の方法が見つからない理由として、自分の感覚だが、崇化館エリアは市役所が近くにあり大きな病院もあって、それほど困っていないと特に若い世代はそう思っているのではないかと思う。そういう人達をいかに集めて意見を取り出していくかが重要。
- ・地域行事や自治区役員をお願いしたり紹介してもらうときに若い世代に役割を振れない風土になっており、世代間交流がかなり不足している。
- ・明るいまちづくりを考えたときに、防犯の観点からきれいな公園、見通しの良い公園を作っていくために皆で草刈り等をしてはどうかという意見があった。そうすることによって公園に若い世代が遊びに来てくれて、ああこんなきれいな公園誰がやるのという話になったり、そこにもっと集まってコミュニティができるとかコミュニケーションが

できると言うようになっていくといいのかなという意見が出た。

- ・ 20代くらいの若い世代の意見を吸い上げることが凄く難しいと思う。
- ・ 公園の草が伸び放題になっていて、遊ぶのも危ないから、じゃあその公園には行かないという話になってしまうので、若い世代の人たちが刈ってくれたら自分たちの公園だという意識を持ってくれるので、環境ではなくて防犯の話だとか少し視点を変えることによって公園づくりだとかまちづくりに繋がっていくのではないかな。
- ・ 子ども会が少なくなり子どもの数も減っているが活動したい、良くしたいと思っている若いひとは沢山いると思うのでそう言ったそれぞれの世代で活躍できる場をまず設けて色々な意見を聞きながら世代間交流が進めばこの崇化館地区の困りごと解決に少しずつ繋がっていくのではないかな。
- ・ 最終的にはもっと意見を集約しなければいけないなというふうに思う。

《第3グループ発表》

- ・ 一つ目のテーマは公園や学校の環境整備について、グラウンドの草刈りは学校ではできないのでPTAや地域の方の応援で実施しているという点に関するもの。
- ・ PTAの集まりが悪いとシルバーにお願いしてお金を払って実施することもあるので、お金を払うなら協賛のような形が取れたら面白いじゃないかという施策を考えた。
- ・ 地域の商店から協賛をいただいて環境整備に参加してくれたら地域の商店で使える割引券だとか地域の方にも還元できるような形の景品だとか、大きい企業であればネーミングライセンスのような形で協賛いただいて企業名の入ったウェアで活動していただいて〇〇会社が協賛していますみたいなのでボランティアやってもらうというのも面白い方法じゃないかといった話が出ている。
- ・ 2つ目のテーマは高齢者問題で自治区活動の担い手が少なくなっているというところ。元気な高齢者は増えているがそういう方はお金が稼げるところに働きに行ってしまう自治区活動はボランティアになるので人が集まらない。
- ・ 地域内の単身高齢者の安否確認について、LINEの活用とか、今なら安否確認用アプリを開発してもいいと思う。自治区ごとにLINEグループを作ってそこに情報を流す。開封アプリを利用すれば情報を見たか見ないかで生存確認もできる。他に地域のイベント等も回覧板で流すのではなくデジタルで提供するといった試みもあるのではないかな。
- ・ 地域の商店街の割引券を付けたりとか地域の活性化も含めた形で色んな事がやっていけたらいいのではないかな。

<次回以降の議論の進め方>

会長 本日は、3グループに分かれて色々な議論をしていただいた。

テーマとして成立する上での前段階くらいまでの議論しかできなかったと思うが、次回以降、前回まで議論した水害対策を含めたテーマ候補について、一応こちらの方で、決めさせていただくような形にしたいと思うがいかがかな。

そうして12月からやっていきたいなと思っている。

今日の発表で皆さんにある程度の共通理解があると感じたので、その辺りを吟味させていただいて、私と副会長、事務局で詰めさせていただき次回はそういう形で進めさせていただきたい。